

## 二〇二〇年オリンピック・パラリンピック競技大会

### 東京招致に向けた決議文

一九六四年十月十日、澄み切った東京の青空の下で、第十八回オリンピック競技大会の開会式が霞ヶ丘・国立競技場で行われた。

以来、五十年余の歳月が流れ、その間、札幌と長野で二度の冬季オリンピック競技大会が開催された。

そして、この度、東京都が二〇二〇年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地として立候補した。

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、日本社会の活性化や経済の再建への貢献に寄与するとともに、国民、とりわけ次世代を担う青少年に夢と希望をもたらすばかりでなく、青少年のスポーツへの関心をより一層高め、わが国スポーツ振興の原動力となる。

また、東日本大震災からの復興を願う私たちにとって、明確な目標と団結をもたらすとともに、支援を寄せていただいた全世界への感謝の意を示す絶好の機会となる。

公益財団法人日本バスケットボール協会は、JOC各加盟団体とともに、二〇二〇年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致の実現に向けて活動していくことを、本日、ここに決議する。

平成二十四年五月九日

公益財団法人 日本バスケットボール

